5年研究授業計画

東二番丁小学校 5学年担任 佐々木 比呂子

1 研究教科 社会科

2 共同研究における目指す子供像

- (1) いくつかの理由や根拠を挙げながら自分なりの考えや意見を持つ。
- (2) 内容の構成や伝え方を意識し、自分なりの考えや意見を表現する。
- (3) 互いの考えや意見を伝え合い、異なる意見も意識しながら自分の考えを広げる。

3 社会科で目指す児童像

社会的事象について進んで調べ、その意味について考えたり考えたことを表現したりする活動を通して、互いに考えを発展させることができる。

4 児童の実態

4年生で覚えた都道府県名を一生懸命復習したり、地図帳を使って積極的に自主勉強をしたりして社会科の学習に意欲的に取り組む児童が多い。しかし、個人差が大きく、どうやって資料集や地図帳を使って調べたらよいのか迷う児童も数名いる。また、授業に携帯する4冊の本の扱いや、たくさんの地名や用語などの文字情報の理解にも戸惑いを見せる児童が多く、今後は有り余る情報を整理選択して学習に活用するためのスキルも必要である。また、考えたことをまとめ、発表することができる児童も一部に限られており、全体的に考えの発表、交流には消極的な児童が多い。

5 『小学校学習指導要領』における言語活動の位置づけ

本研究は『小学校学習指導要領』社会科の第5学年目標（3）「社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てようとする。」に基づいて行う。

6 授業研究計画

- (1) 学習問題に対して自分たちで調べた資料を関連付けたり比較したりしながらお互いの考えを交流し、習得した知識や見方などを活用して根拠のある予想ができる授業。
- (2) 提示された資料を関連付けたり比較したりすることで自分の考えを持ち、さらにそれを友達同士で交流することで新しい考えに気付くことができる授業。

7 授業技術課題

- ・ 座席表と机間巡視で児童一人一人の考えを把握する。
- ・ 発言を構造化して、新しい考えや価値へと導くことができるよう意図的指名をする。